

平成30年度の決算を審査し、 今後の市政運営に活かす!!

市の予算は使って終わりではありません。市長は予算がどのように使われたのかを「決算」にまとめ、議会に議案として提出します。議会は、この決算の内容を厳しい目でチェックし、予算の使われ方が適正であったか、十分な効果をあげられていたかなどを審査します。そして「今後の市政運営に反映させる」ために、その結果を「指摘要望事項」として、市長に提出します。

審査の結果を市政運営に反映させるため、「指摘要望事項」として市長に提出し、措置状況の報告も求めます。



議決

本会議では、決算審査特別委員長から審査の状況が報告され、決算議案を認定するか採決が行われます。

決算審査特別委員会では、より詳しく審査するため、市政の各分野を5つの分科会で、専門的に審査します。

本会議

各分科会から審査経過を報告し、各会派は意見を表明します。

決算審査特別委員会 4・5面

市長が平成30年度の決算議案を作成し、市議会に提出します。

開会

市長

提出された決算議案について、会派の代表がさまざまな質疑を行います。

代表質疑 2・3面

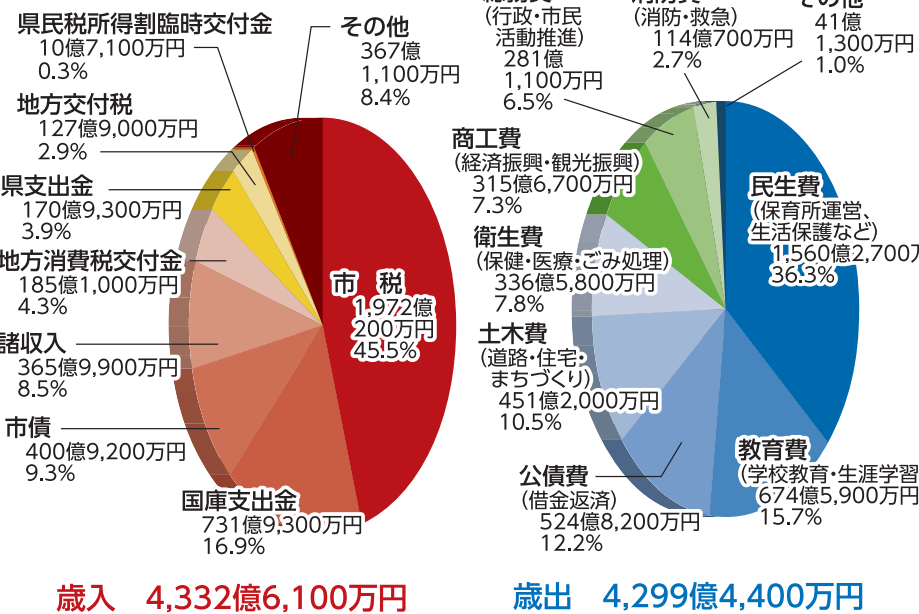
平成30年度 歳入歳出決算を 認定しました。

決算審査特別委員会の詳しい内容は、4・5面に掲載しています。

平成30年度一般会計および特別会計などの決算議案については、本会議で4会派の代表が質疑を行ったほか、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審査を行いました。その結果、各会計決算を原案どおり認定しました。決算審査特別委員会では、指摘要望事項をとりまとめたほか、各会派が決算に対する意見表明を行いました。

一般会計決算の概要

一般会計では、歳入において、市税や地方消費税交付金が予算に比べ増収となったこと、また、歳出においては、効率的な予算執行に努めた結果、実質収支は24億4,600万円の黒字となりました。



平成30年度一般会計決算の前年度からの主な増減

【 】内は主な増減の内容

歳入	市税	195億1,200万円(11.0%↑)増
	【県費負担教職員の給与負担等の移譲に伴う税源移譲による個人市民税の増】	
	市債	13億6,600万円(3.5%↑)増
	【道路新設改良費の増などに伴う建設事業債の増】	
	地方消費税交付金	16億4,000万円(9.7%↑)増
	【個人消費の増加などによる増】	
	地方交付税	6億1,000万円(4.5%↓)減
	【東日本大震災に係る震災復興特別交付税の減】	
歳出	民生費	12億4,900万円(0.8%↑)増
	【子ども・子育て支援給付事業費の増、障害者介護給付等事業費の増】	
	衛生費	13億7,200万円(4.2%↑)増
	【千葉県からの事務移譲に伴う指定難病助成事業費の増】	
	商工費	29億7,500万円(8.6%↓)減
	【融資残高の減に伴う中小企業資金融資預託貸付金の減】	
	総務費	8億3,300万円(2.9%↓)減
	【財政調整基金への積立金の減、解体工事の完了に伴う高洲市民プール・体育館再整備事業費の減】	

主な内容

2・3面 代表質疑 | 4・5面 決算審査特別委員会 | 6面 常任委員会審査から/要望書の提出/一般質問
 7面 議案の議決結果・会派別賛否状況/可決した主な議案/可決した意見書/市議会レポート | 8面 企画記事「特別委員会の活動をご紹介します」/議会運営活性化推進協議会/主な会議日程